PATTERN MAGIC

パターンマジック 伸縮素材

中道友子

文化出版局

PATTERN MAGIC

パターンマジック 伸縮素材

中道友子

体を通すことができれば服になる。

胸を通した人が自分のシルエットを出せる自由な布、

それが伸縮素材。

作ることを推奨するのではなく、どんどん着てみよう。

頭でかいたものではなく、計算できない自由な服。

計算できない何乗にもマジックのかかった服を解明していくのは、

ゲームのように楽しい作業だ。

Contents

この本の使い方

この本では、伸縮素材を使ったパターンを作るために、ほとんどの作品に"スローパー(ベースになるパターン)"を使っている。このスローパーの詳しい特徴は後で述べるが、ある程度の伸縮率の素材で製作すれば体にきれいにフィットするパターンになっている。

この本に記載した服のデザインの作図、パターン操作はMサイズのスローパー(バスト83cm、ウエスト64cm、ヒップ91cm、背丈38cm、袖丈52cm)をベースに使っている。

そして、立体のパターン操作の解説には½のボディを使った。このボディはすべての寸法が½になっていて、表面積は¼、体積は⅛になる。

実物大で作ったときと、素材の厚みや垂れ感が異なるため、バランスなどが変わって見えることがあるが、½のボディを使うと、全体のバランスや雰囲気を簡単に把握することができるという利点がある。

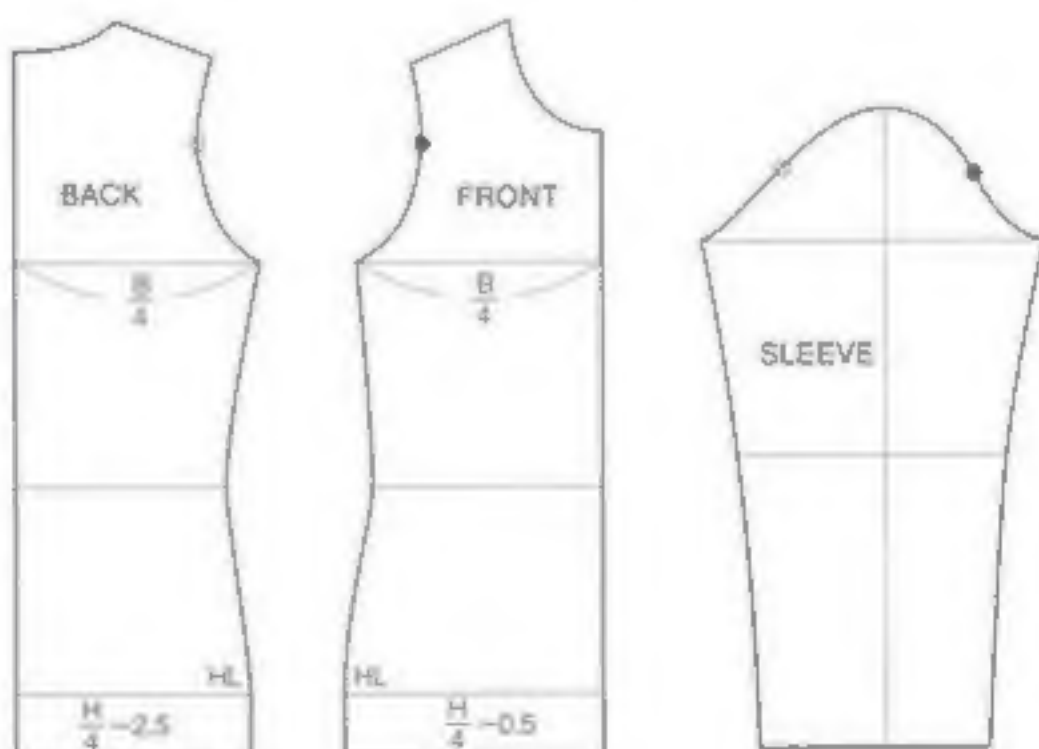
パターンの仕組みを学ぶ方法としては、少ない分量の布で時間の短縮にもなって便利なので、この方法をとっている。½の作図をするときは、作図内の数字も½にすることを忘れないでほしい。

またパターンの成立ちをわかりやすく紹介することを目的としたため、パターンには、実際に仕立てるための見返しなどの表記、また、布の使用量の記載も省略してある。

●スローパーの実物大パターンと、その½パターン(各S、M、L)を付録につけた。目的によって使い分けてほしい。

スローパーの特徴

布帛のスローパーとの大きな違いは、体にぴったりフィットさせていることである。それぞれ特徴のある部位をあげてみた。

- 袖が肩にのるように、肩幅を狭くした。
- 袖底を上げ、アームホールを小さくした。
- 袖幅も狭くして、腕にフィットさせた。
- アームホールと袖山は同寸法。
- ヒップは実寸法より小さくしてぴったりさせた。
- 腰のカーブは直線に近い線でかき、フィットさせた。
- 衿ぐりはかぶって着られるように大きくあけた。

使用した素材

伸縮素材には、天竺、フライス、スムース、テレコなどがある。横によく伸びるのがフライス、テレコ。さらにポリウレタンが混じっているものは、縦にも伸びる。
このカバーにはベア天竺という、コットンにポリウレタンなどが入った素材を使用した。ベア天竺は縦横によく伸びるがカーリングがおきるので、カーリングが苦手であれば、フライス、テレコなどのよく伸びるものをおすすめする。
写真は、ここで使用しているベア天竺を普通の力加減で伸ばしたもの。この本の作品の多くは、フィット感を出すためにベア天竺のようなよく伸びる素材を使用している。

作図の略称記号と表示記号

略称記号

AH
Arm Hole(アームホール、袖ぐり)

FAH
Front Arm Hole(前アームホール)

BAH
Back Arm Hole(後ろアームホール)

B
Bust(バスト、胸囲)

W
Waist(ウエスト、胴囲)

H
Hip(ヒップ、腰囲)

BL
Bust Line(バストライン、胸囲線)

WL
Waist Line(ウエストライン、胴囲線)

HL
Hip Line(ヒップライン、腰囲線)

EL
Elbow Line(エルボーライン、肘線)

CF
Center Front(センターフロント、前中心)

CB
Center Back(センターバック、後ろ中心)

表示記号

案内線		目的の線を引くために案内となる線。細い実線で表わす。
等分線		一つの限られた長さの線が等しい長さに分けられていることを表わす線。細い破線で表わす。
でき上り線		パターンのでき上りの輪郭を表わす線。太い実線または破線で表わす。
わに裁つ線		わに裁つ位置を表わす線。太い破線で表わす。
直角の印		直角であることを表わす。細い実線で表わす。
線の交差		左右の線が交差することを表わす。
布目線		矢印の方向に布の縦地を通すことを表わす。太い実線で表わす。
バイアス方向		布のバイアス方向を表わす。太い実線で表わす。
切り開く印	開く	開くことを表わす。
別々のパターンを続けて裁つ印		布を裁つときにパターンを続けることを表わす。

PATTERN MAGIC

Part 1
自由な素材で遊ぶ

自由に伸縮する素材はすでにマジックがかかっている。

縦、横、斜めに伸縮し、何もしなくても体にフィットする。

ゆとりはきれいなドレープに変化する。

着ることができればそれで完成という言い方もできるくらい。

この素材にしか通用しない自由なパターンの定義を見つけられたら、

布帛ではできないデザインも可能になる。

その自由さを服の定義に当てはめてパターンにしてみたい。

着間違い
解説26ページ
BUNKA

似たものどうし A

似たものどうしB

満月

三日月

着方のマジック

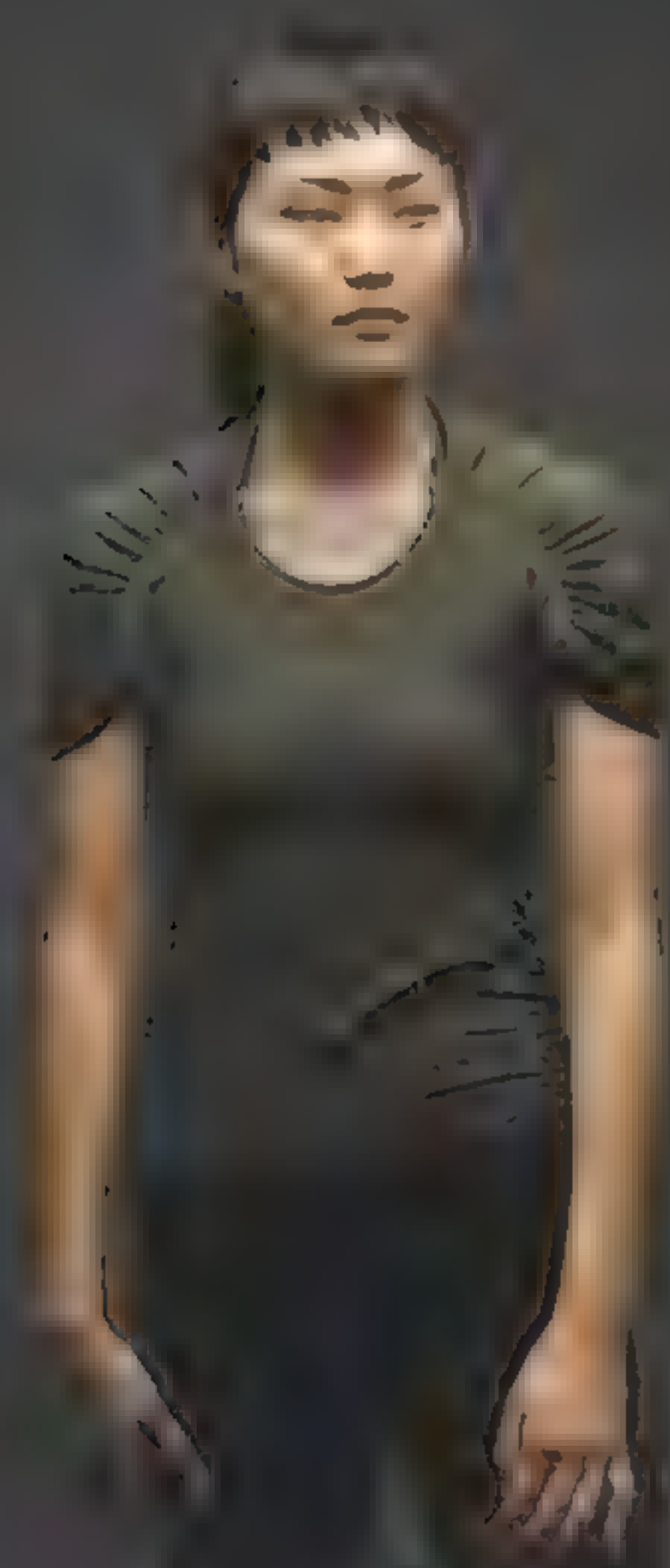
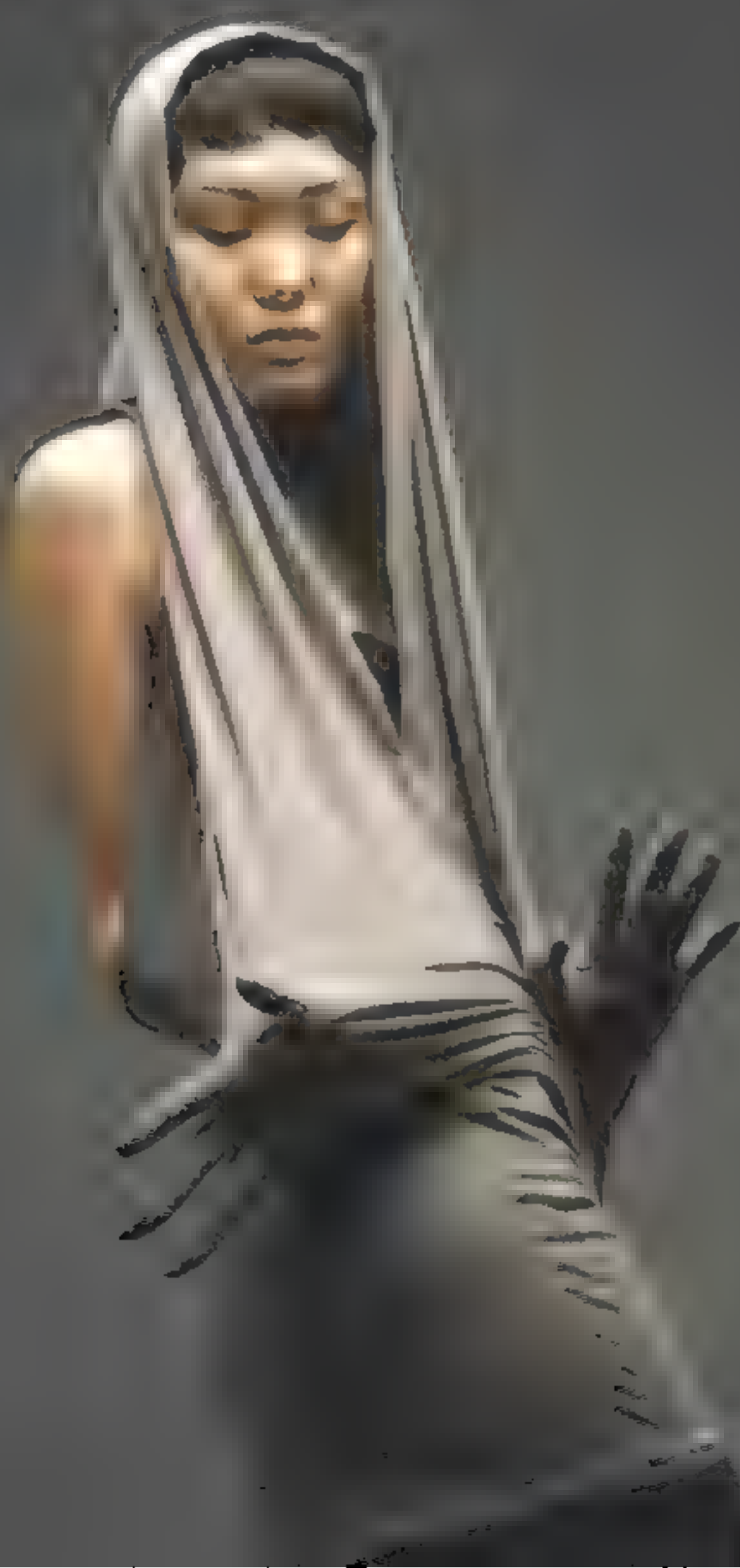
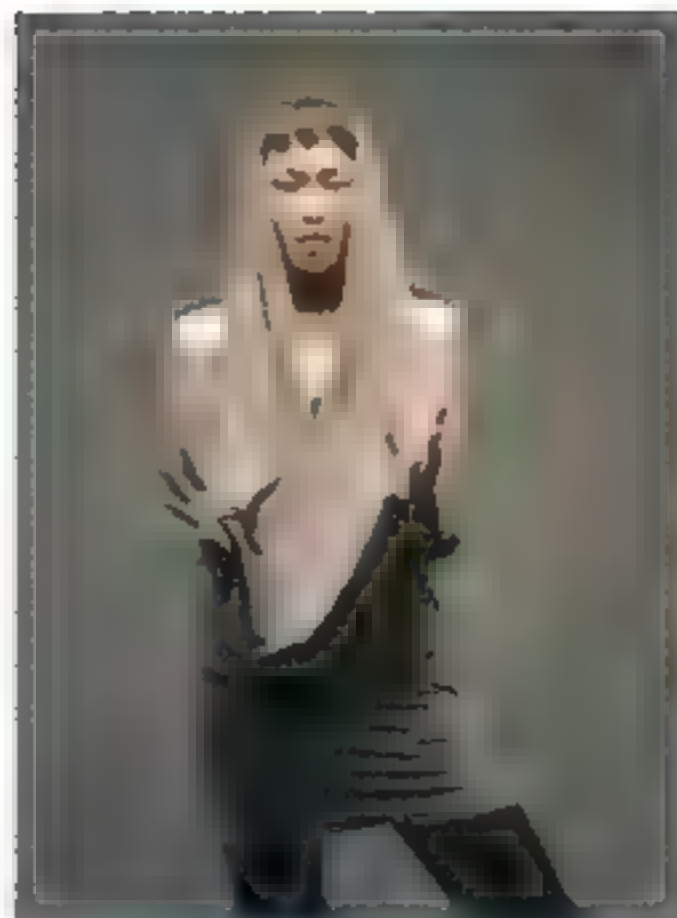
もぐらたたき

解説38ページ

フードシャツ

解説40ページ

つぶした空き缶

BUNKA

PATTERN MAGIC

"自由な素材で遊ぶ"のパターンを作る

ーク袖のパターン

BACK

FRONT

かいてリメークした結果を写す

空間にテープをはる。袖ぐり
がひやすいので少しずつ
ながら大きさを決める。

い、左袖がすっきり見えるよう
に、ピンでつまんで袖幅を細
くする

する

チビなシャツとビッグなシャツ

いっしょにしたら 普通サイズのシャツ

似たものどうし 仲よくおさまって

❶ 前後スローパーのヒップラインから上をか……の作図をする

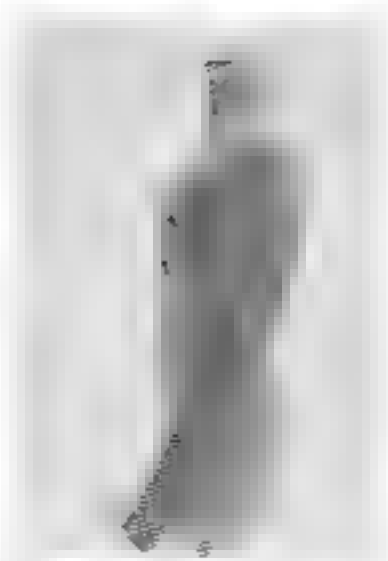
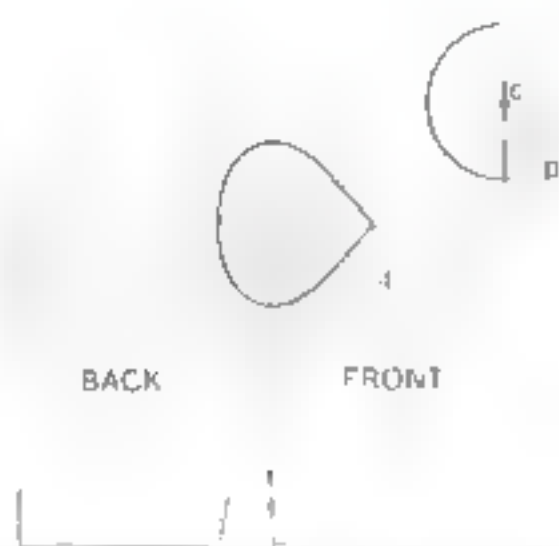
……に拡大コピーする 前身頃を65%に縮小……

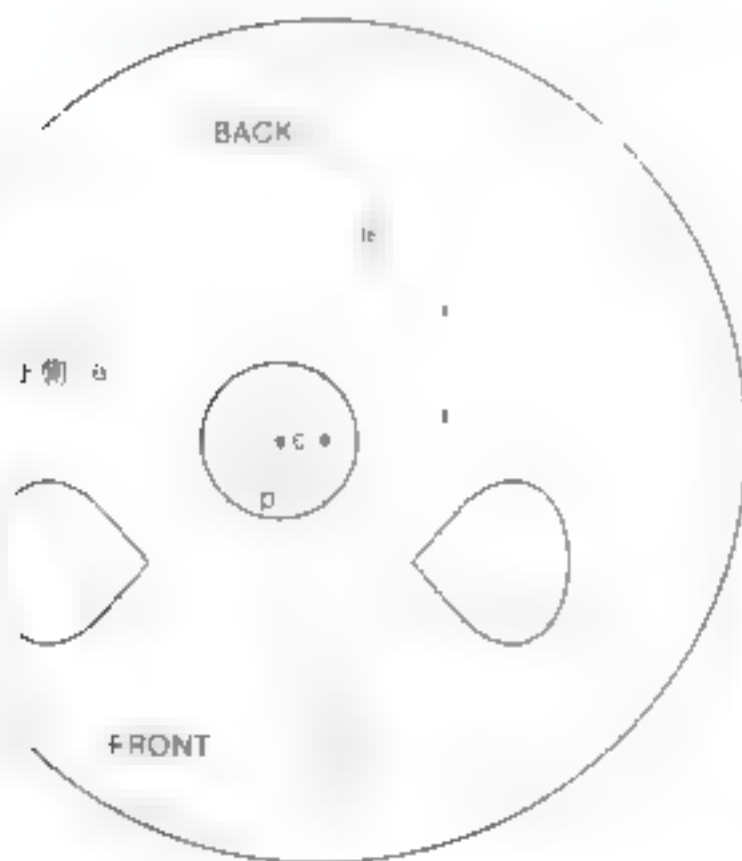
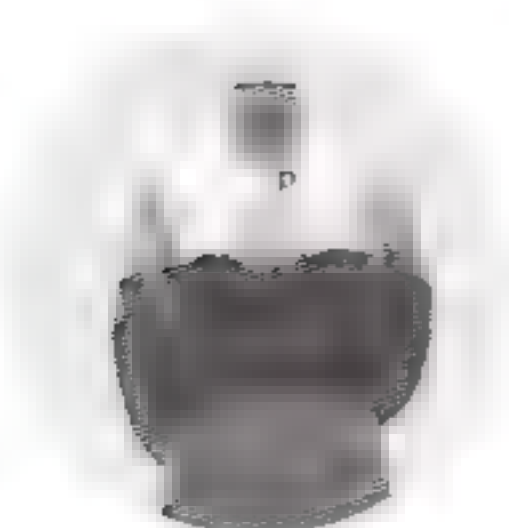
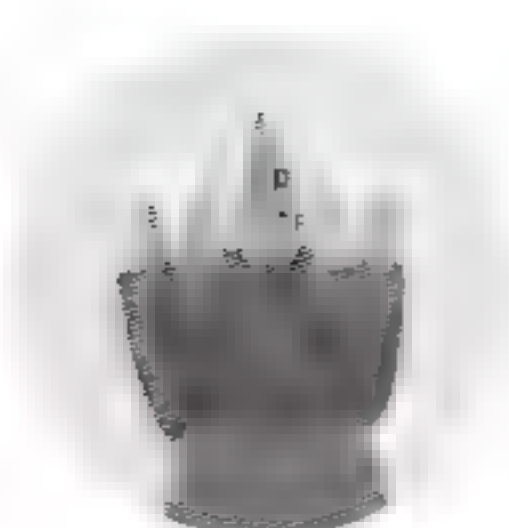
パターン私まもワンラしB

のブロックを組み立てるように
のT字形のパターンを上下に組み合わせ
るだけでフォークロア調のブラウスに

できよ図

ネトから下の身頃と内袖がつながってできた
をしたパターンの作図を A とする

太したもので 上下 反転しBとする a~bとe~f c~dとg~hを縫い合わせる ぐりはひもを通して調節する

❶ aを中心にして半径36cmの円をかく。その円の中に、ウエスト回りになるbを中心とする半径10.5cmの円をかく。ウエスト回りを通って体を入れるので、バストが入るか確認する。これを下側になる円Aとする

❷ 袖ぐりと衿ぐりの作図をする。前後スローパーのウエストから上を脇底を合わせて、袖ぐりをかく。前中心線[illegible]する

❶ aを中心とする半径36cmの円をかく。円の中に、bを中心とする半径12.5cmの円をかき、ウエスト回りとする。これが下側の円になりAとする。Aの穴のあいていない、お皿の円をBとする。Bは上側の円にな

AとBに衿ぐり 袖口を写してかき込み 作図を完成する

18ページ"もぐらたたき"

いろんなところから頭を出せるワンピースは

たたいてもたたいても次々に頭を出すもぐらたたきのようだ

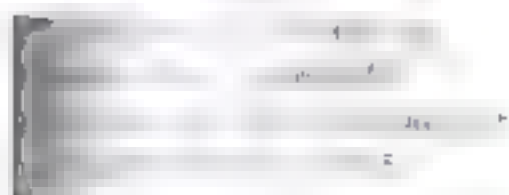
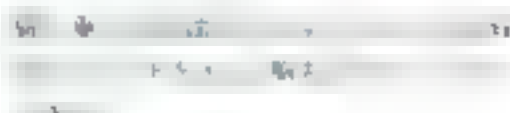
たたいた爽快感はないけれど

頭を出すところを移動するたびにシルエットが変わる楽しみがある

袖ぐ穴に腕を通す

袖ぐ穴に腕を通す

b
切り開

FRONT
BACK
d
d'
c
0.7

❸ 切開き線を開き 左右のハイネックをかく。脇の楕円のアクセントから下のスカート部分 スカートのボリュームを足す 前後同パターンとする

● 前スロ バーのウエストから上をう み イネ クをかき 左右のハイネ の切開き線を入れ トレス丈を決め はアクセントにもなる楕く 穴から切開き線をか

ーツ 解説から へ

トゲトゲA 解説

ゲトゲ B 解説71ページ

トゲトゲC

、ゲトゲ D 解説74ページ

りんごの皮 A

解説75ページ

りんごの皮 B 解説76ページ

飛び出た角

BUNKA

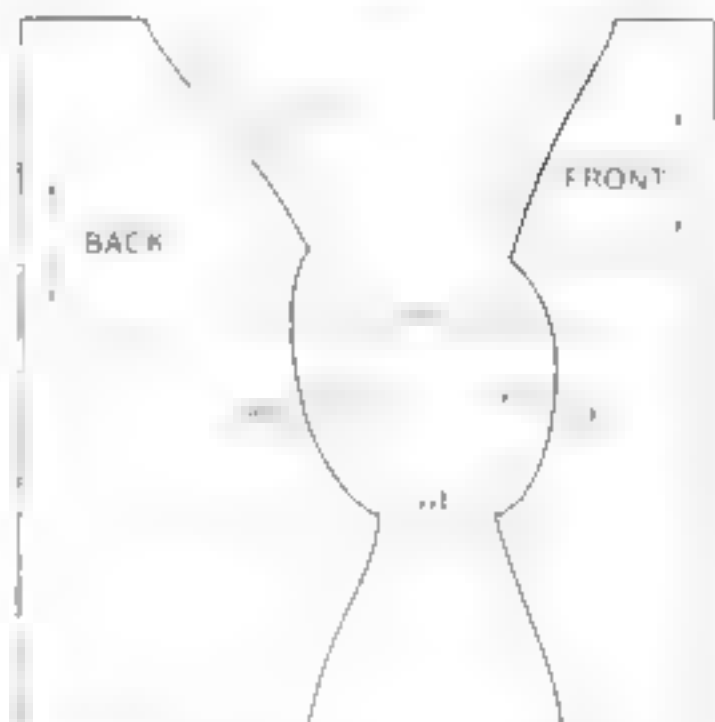
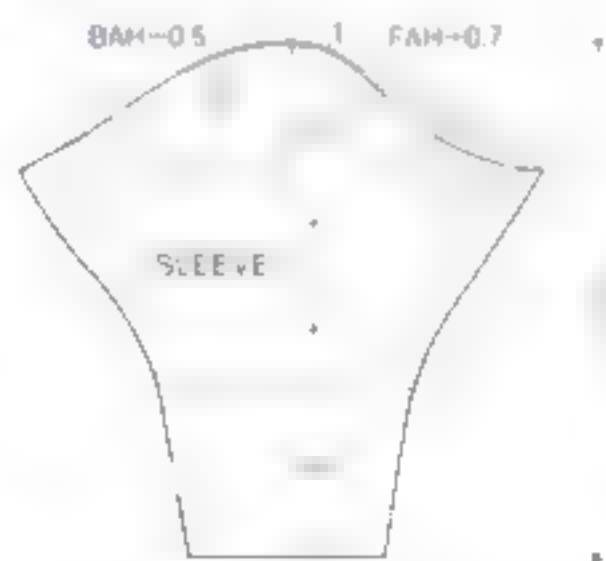
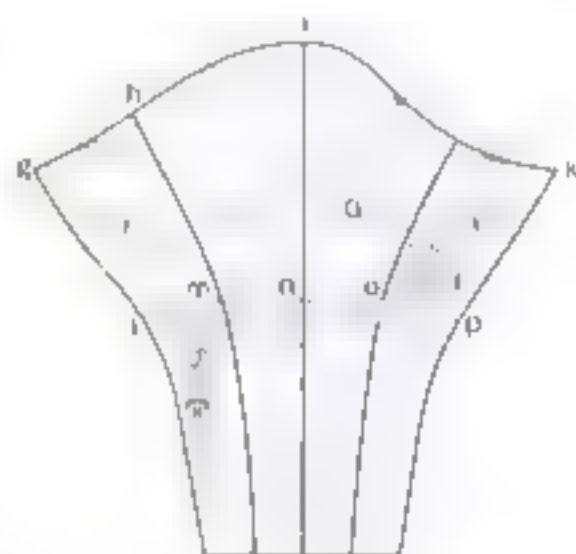
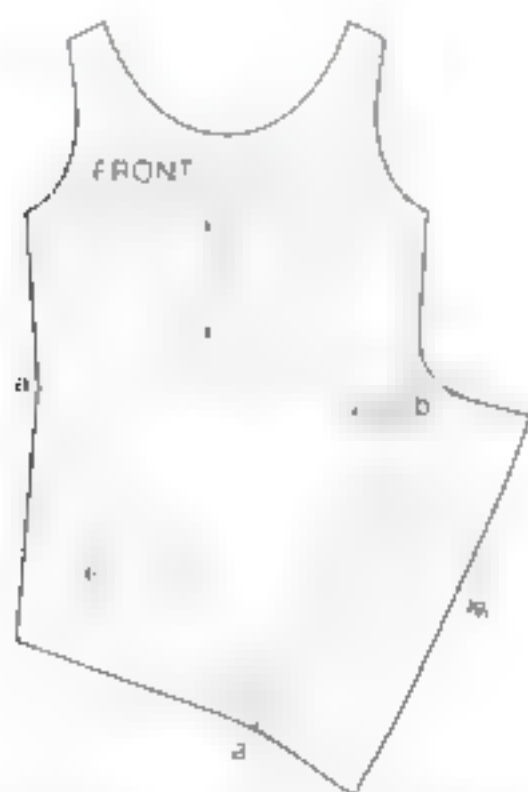
抜け穴

直線之曲線 A

直線と曲線B

PATTERN MAGIC

“自由な素材の表現力”の
パターンを作る

46ページ"トゲトゲA"

パターンを切り開いて
そこから三角形のトゲを一つ出してみた
伸縮素材は [illegible]
トゲがきりっと突き出るように見える

❷ bを基点として65度切り開く。a〜aを底辺とした二等辺三角形をかく。着用するとこれがトゲになる

❸ 後ろ身頃は ❷ [illegible] を反転する

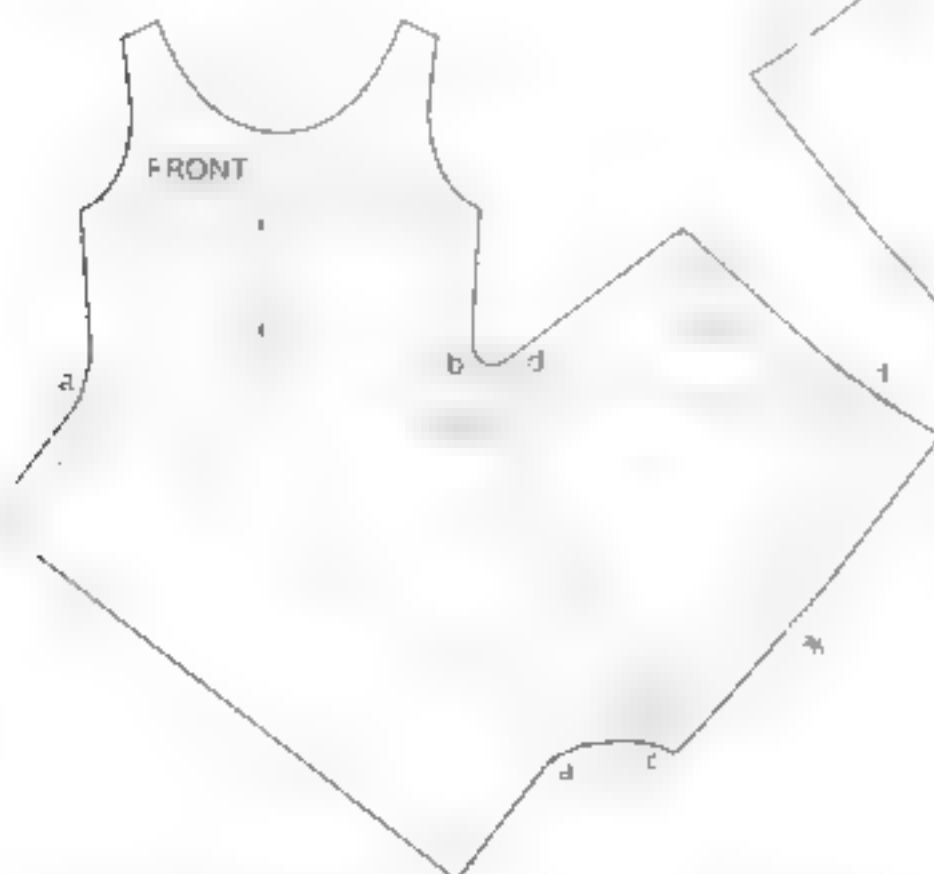
47ページ"トゲトゲB"

右に2本 左に1本トゲを出す

長方形にすれば一度に2本のトゲを出すことができる

長方形と三角形 合わせて3本のトゲになった

❶ 前スローパーのヒップラインから上をかき 身頃の作図をする 切開きの位置も

…❷…を反転する

❷ bを基点として105度切り開く。a〜a を一辺とする長方形をかく cを基点として55度切り開く。d〜d を底辺とする二等辺三角形をかく 着用するとこれがトゲになる

50ページ"りんごの皮A"

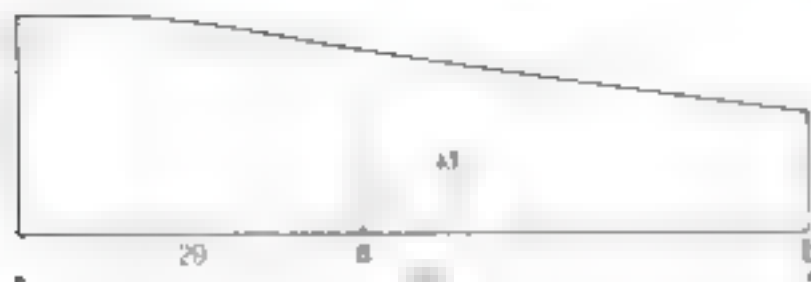
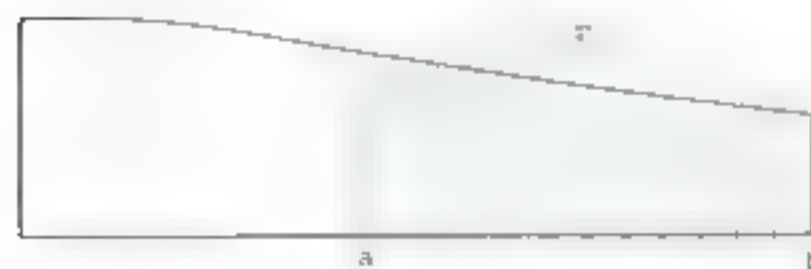
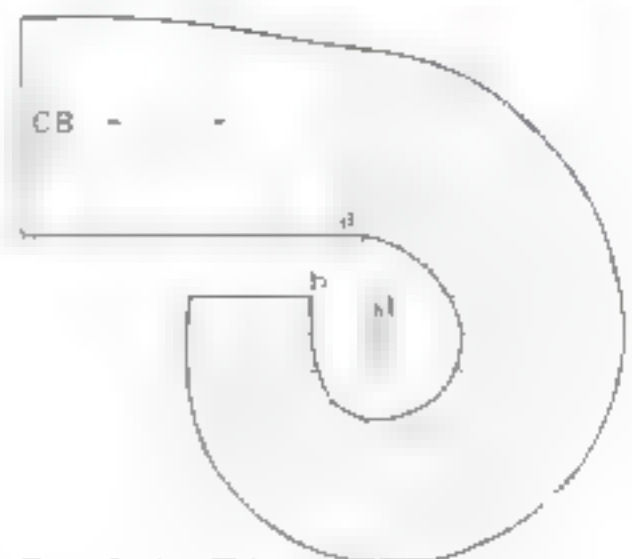
丸ごとむいたりんごの皮は、くるーんと丸まって渦巻きができる。

両端を持って伸ばすと、渦巻きの外側がひらひらと波を打つ。

袖をりんごの皮に見立てて作ってみる。

切替え線をいっぱい入れてりんごの皮のようにまあるく切り開く。

円が小さければ小さいほどひらひらはいっぱい出る。

まあるい袖も腕を通すとひらひらのドレープがたくさんできる

① えり口の作図をする　a〜bは短くなるが カーブの縫い目は伸びる 程度に設定する

② 切開き線をかく。

③ 図のように切り開く

52ページ"りんごの皮B"

かたつむりのようなパターンにう

BACK　FRONT

① 切り開くと伸びるので

② 前から作図する　ローウエストとベルトをつける分とでウエストを10cm下げて

切開き線をかく

ヘルト 裾カフス ひもの作図をする　　　ひもを通
長さを調節する

円　開く　d

54ページ"飛び出た角"

飛び出た角をつまみ上げ

そして放すとどんなドレープが現れるのだろう

裾野が広がった富士山のような円錐形のフォルムは

パターンではどうなるのだろう

[illegible]

[illegible] るので pの位置は高めに設定する a〜pは切替え線になる

● 前後身頃のaとaを合わせ 袖が直角になるようにセットし 前後がつながったパターンとする

● A B を平行に切り開き つながりよく仕上げ線をかく。
袖ぐりと裾は 1.2cmの幅ステッチを細かく入れてゴムテープを通す

[illegible]
…側し、脇を合わせる。あとから上下の身頃を合わせる。切開

⑤ 右身頃を切り開く。線よりをかく。ステッチをかけて抜け穴を作る

⑥ 左身頃を切り開く。抜け穴を通る布の作図をし、つながりよく仕上り線をかく

直線と曲線

伸縮素材で直線と曲線を縫い合わせると
布に生命が吹き込まれたようで、今にも動きそ[illegible]
足して2で割るような、予測できるものとは違う
不思議な立体ができる。

[illegible]
a〜b〜cの寸法に なるまでd〜eを伸ばして縫い合わせる。このときBを下にしたほうが縫いやすい。
縫い代はB側に片返す。Bを上にしてステッチをかける。ステッチをかけることで 伸ばして縫[illegible]た状態をキープすることができる

くたの背中のこぶのような、大きなカ フを袖につけた
袖が印象的に見えるように 身頃は小さくまとめた

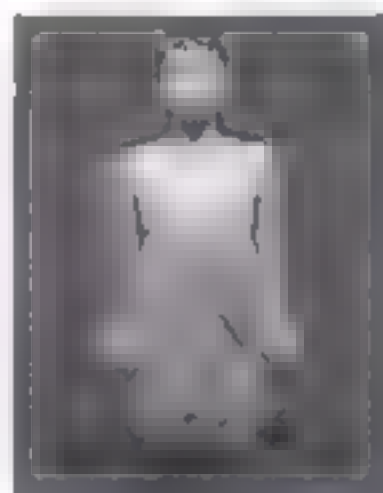
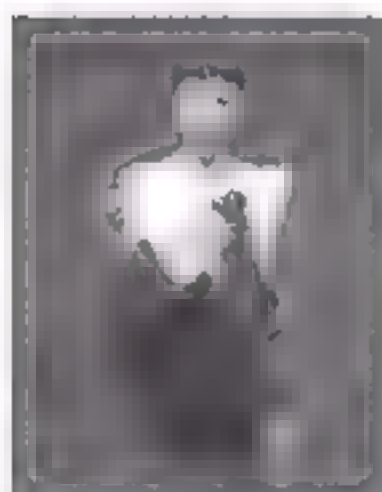
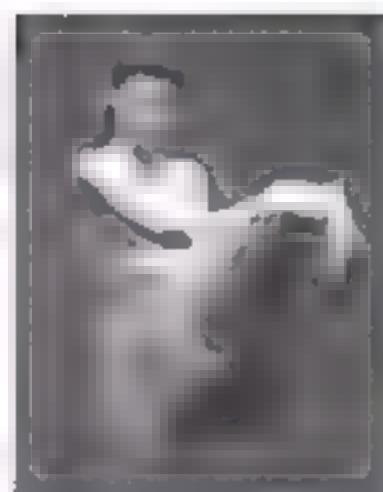
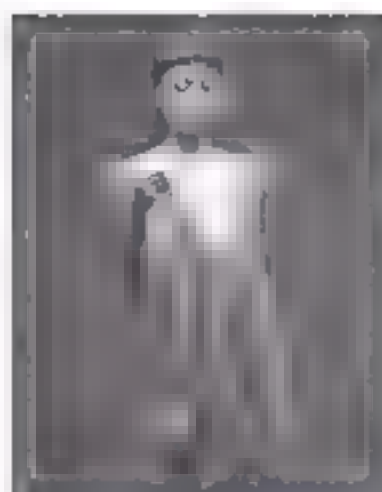
③ ❶を反転して 後ろ身頃の作図をする 肩の延長線上に直線と曲線をかき 袖布をかく

61パターン 直線と曲線D

直線と曲線を肩甲骨のところに入れたら

天使の羽が生えたような背中美人の服になった

❶ 前後スローパーを肩で合わせてかく。前後身頃の作図をする。前身頃に切開き線を入れる

❸ ❶の作図のように袖の作図をする。後ろのラグラン線、袖線をかく。仕上り線をつながりよくかく。

64ページ"えい

水族館で人気者のえい
ひれを大きく動かして向かってくる姿は圧巻だけど
おなかを見せてターンするとき
ちらっと見せる恥ずかしそうな顔がなんともかわいい
広がったスカートと裾からの扁平なシルエットに
水族館のえいを思い出した

❶ 前スローパーのウエストから上をかく。前身頃の作図をする。パネルラインをかく。脇で、[illegible]をさらに交差させて、ドレープのあるスカートの作図をする

❷ 脇線は裾で突ち合わせに、前後[illegible]する。a～bは[illegible]する

❸ 前中心側の身頃に切開き線をかく

FRONT

A

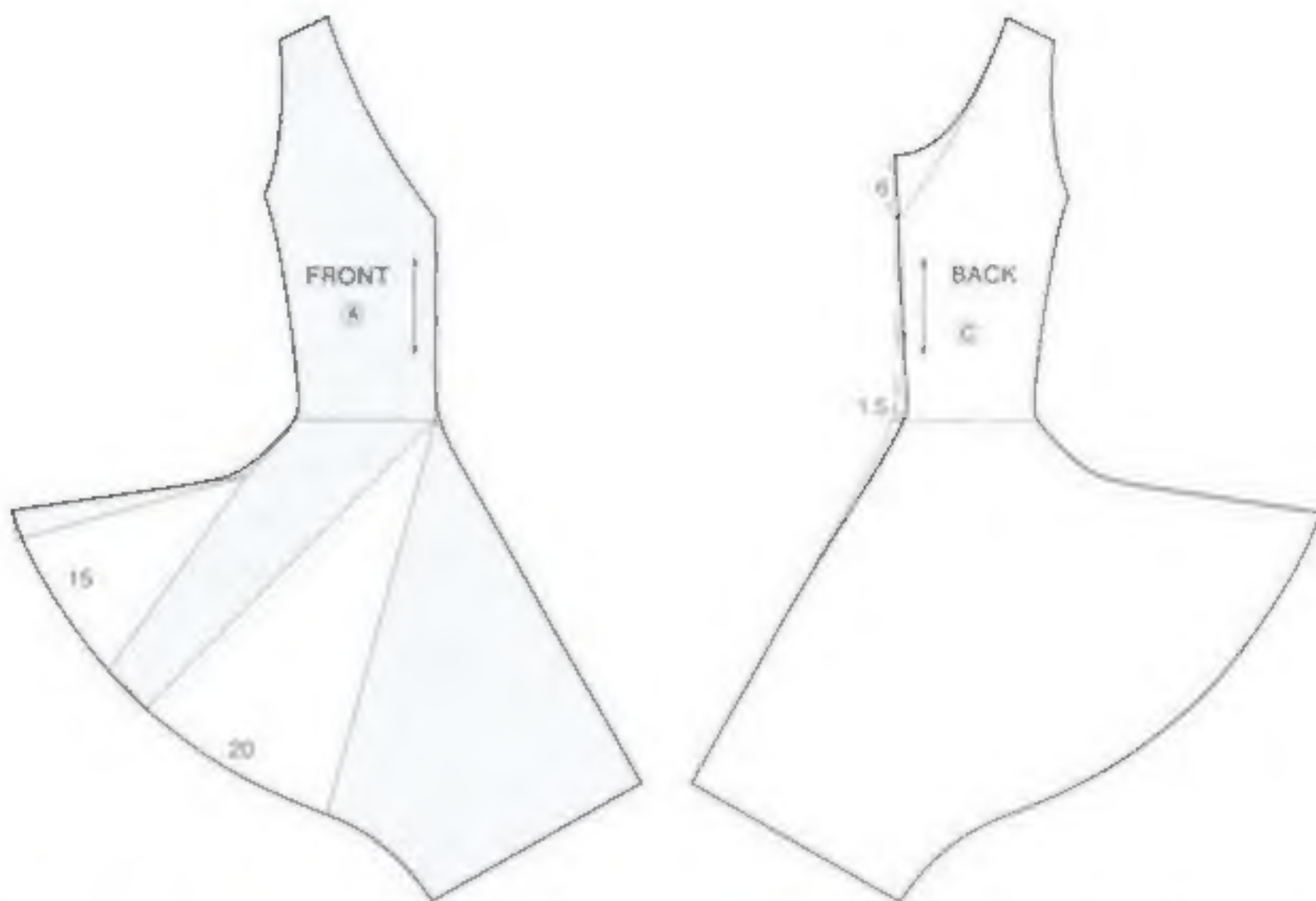
15

20

BACK

C

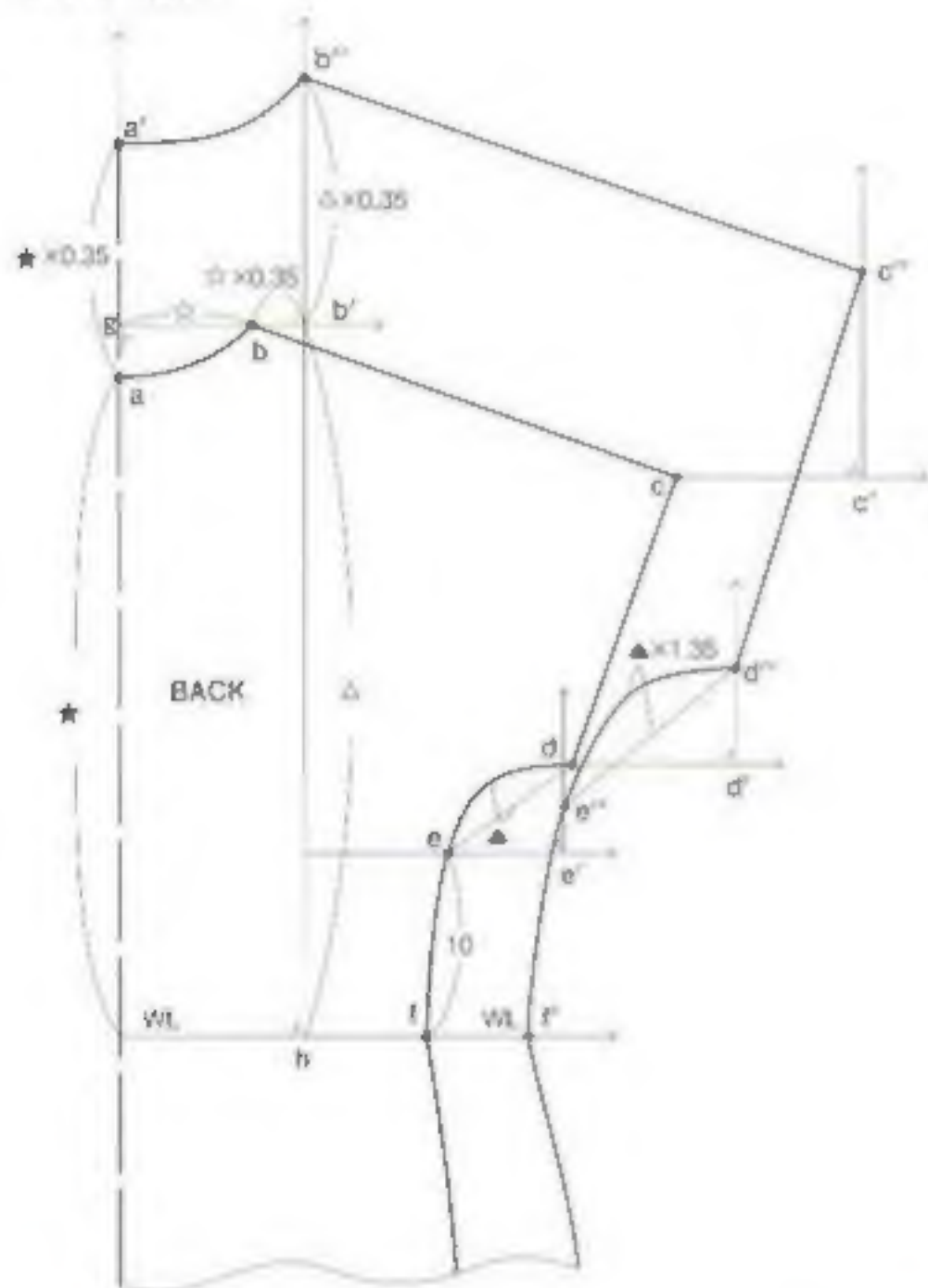
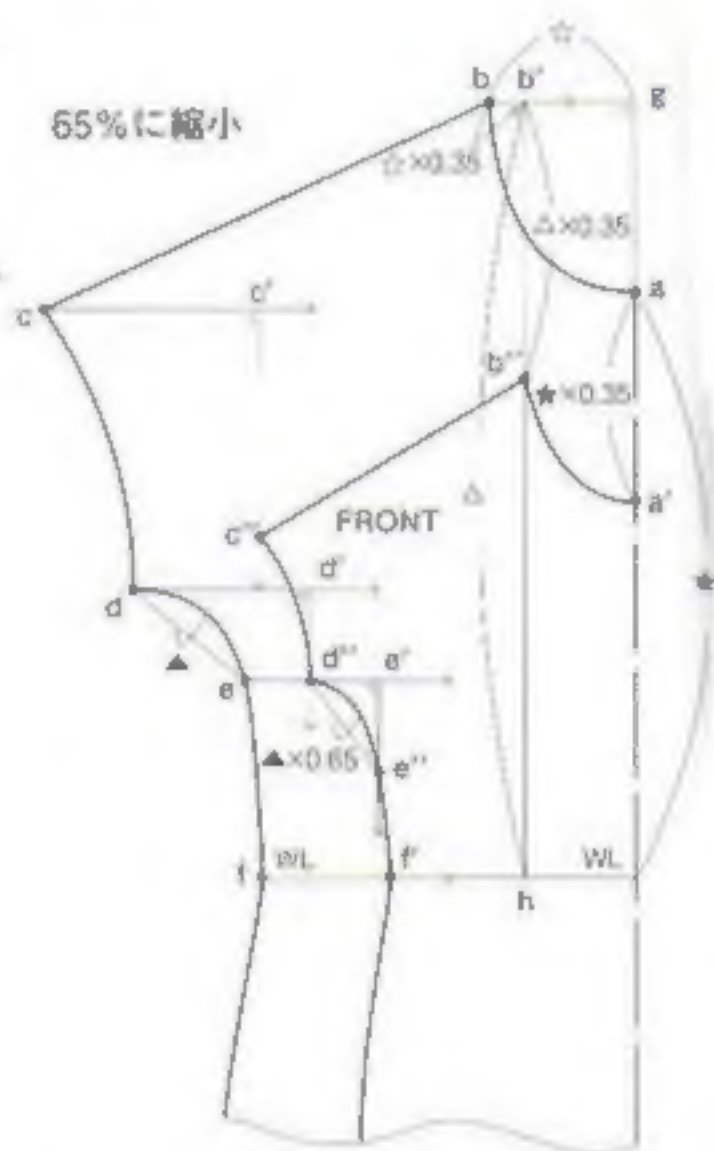
6

1.5

⑤ 前中心側の身頃の切開き線を切り開く。仕上り線をつながりよくかく。

⑥ 前中心側の身頃を反転して、後ろ身頃を作図する。ウエストラインで1.5cm絞る。後ろ中心で衿ぐりを6cm上げる。仕上り線をつながりよくかく。

パターンの拡大、縮小のしかた

パターンの拡大、縮小はコピー機でできるが、計算してする方法もある。
8ページの"似たものどうしA"のパターンを135%に拡大、65パーセントに縮小してみる。

135%に拡大

❶ 後ろ身頃をかく。ポイントごとにa、b、c、d、e、fをかく。後ろ中心を基準として、横を135%に拡大する。後ろ中心上にbから直角にgをかく。gからbを通り水平線をかく。g～bを☆寸法とする。bから（☆×0.35）寸法をとりb'とする。同様に後ろ中心からcまでの長さの35%をcから水平にとりc'とする。同様にd'、e'、f'をとる。ウエストから下も同様にする。ウエストを基準として縦を135%に拡大する。後ろ中心上でaからウエストまでを★寸法とする。aから（★×0.35）寸法をとりa'とする。ウエストライン上にb'から直角にhをとる。hからb'を通り垂直線をかく。b'～hを△寸法とする。b'から（△×0.35）寸法をとりb''とする。同様にc''、d''、e''をとる。ウエストから下は下に拡大する。袖ぐりのカーブのかき方は、d～eを結び、カーブのいちばん深いところを▲寸法とする。d''～e''を結び（▲×1.35）寸法をとりカーブをかく。同様に衿ぐりもかく。新しくできたポイントを通り、つながりよくかく。

❷ 前身頃をかく。ポイントごとにa、b、c、d、e、fをかく。前中心を基準として、横を65%に縮小する。前中心上にbから直角にgをかく。b～gを結ぶ。b～gを☆寸法とする。bから（☆×0.35）寸法をとりb'とする。同様にc'、d'、e'、f'をとる。ウエストから下も同様にする。ウエストを基準にして縦を65%に縮小する。前中心上でaからウエストまでを★寸法とする。aから（★×0.35）寸法をとりa'とする。ウエストライン上にb'から直角にhをとる。b'～hを結ぶ。b'～hを△寸法とする。b'から（△×0.35）寸法をとりb''とする。同様にc''、d''、e''をとる。ウエストから下は下に縮小する。袖ぐりのカーブのかき方は、d～eを結び、カーブのいちばん深いところを▲寸法とする。d''～e''を結び（▲×0.65）寸法をとりカーブをかく。同様に衿ぐり、袖口もかく。新しくできたポイントを通り、つながりよくかく。

完成パターン